

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

達成度(評価)

- A: 十分達成できている
- B: おおむね達成できている
- C: やや不十分である
- D: 不十分である

学校名	鹿島市立浜小学校
-----	----------

1 前年度 評価結果の概要	<p>・校内の各部会が組織的に機能し、多くの項目で達成・改善が見られた。</p> <p>・学力向上については、校内研究の充実、学力向上マイプランの活用、学習状況調査結果を活用した研修等に取り組み、総括評価や学習状況調査等で成果が見られた。今年度は2年目となる算数の校内研究を深めるとともに、デジタルドリルの導入など一人一台パソコンの効果的な活用を進めたい。また、学習規律や指導法等、全職員で共通理解を図って落ち着いた学習環境を維持していく。</p> <p>・「ふるさと学習」では、生活科や総合的な学習の時間等で地域の人材を十分に活用し、本校独自の体験学習を実施することができていた。しかし、数年にわたり学習内容の踏襲が見られるので、今年度は地域人材や学習内容を開発・改善し、主権者教育やキャリア教育にもつなげたい。</p> <p>・気になる児童や家庭が複数あり、担任を中心に、管理職・教育相談担当者・特別支援学級担当・通級指導教室担当、SC、SSWや外部の関係機関等と連携を取りながら対応してきた。今年度も、校内のケース会議実施や外部機関の連携をさらに充実させ、支援をしていく。</p>
------------------	---

2 学校教育目標	ふるさと愛する・光の子の育成
----------	----------------

3 本年度の重点目標	<p>①自ら学び続ける子供の育成「ひびきあう子供部会」(知)</p> <p>②思いやりのある子供の育成「かがやく子供部会」(徳)</p> <p>③たくましい子供の育成「りっぱな体部会」(体)</p>
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

評価項目	重点取組		具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者	
	取組内容	成果指標(数値目標)		進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践	○「おすすめの本」完読率、92%以上	・図書委員会の取組や教師の声かけ等によって、読書推進を図る。 ・読書マラソンを活用して、読書の質の向上を図る。							ひびきあう子供部会	
	○算数科を中心に思考力・判断力の向上を目指すための授業改善	○「教師がわらいをもって、児童が自分の考えを書く活動を適宜設定している」と回答した教師95%以上 ○「まず、自分で考えをノートやワークシートに書こうとしている」と回答した児童85%以上	・単位時間の授業における基本的な学習過程「かしまの『学びスタイル』」に沿った授業づくりを確実に行う。 ・「事実・方法・理由」等の表現する「かく活動」を意図的に設定する。 ・自力解決に向かう、問題設定・対話活動の工夫を行う。							ひびきあう子供部会	
●心の教育	●児童が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「友達の悪口を言わずみんな仲良かった」と回答した児童95%以上 ○「子どもは元気にあいさつができる」と回答した保護者87%以上 ○「家族や地域の人にも進んであいさつをしている」と回答した児童95%以上	・年に1回以上、ふれあい道徳や人権週間を計画し、他者を思いやる気持ちを育む。 ・道徳や学活、日常生活の中で友達の良いところを見つけ、全校放送で紹介したり、ありがたの木の木に掲示したりする。 ・5、9、1月をあいさつ強化月間とし、友達や地域の方に自分から進んであいさつをするように呼びかける。							かがやく子供部会	
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめや不登校等の未然防止への「組織的な対応ができている」と回答した職員88%以上	・いじめの対応についての研修を行う。 ・「あのアンケート」を定期的に実施し、悩みや不安を抱える児童との面談を行い、継続的に見守る。 ・長期休暇前後に不登校チェックシートを使って、児童の状態を確認し、対応する。 ・週1回、気になる児童についての共通理解の場を設定する。 ・SC、SSWと連携し、児童や保護者との面談を実施し、ケース会議で取組等の確認をする。							かがやく子供部会 りっぱな体部会	
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童90%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童90%以上	・「お屋の放送ではまもんほめほめタイム」を行い、「いいところ見つけ」につながる日々の観察を全職員で協力しながら行う。1年間で全校児童を1回はほめる。								
	○地域と連携した教育活動の推進	○「ふるさと浜が好き」と回答した児童95%以上	・「水とまちなみの会」等との地域連携を図り、夏休みに職員研修で職員が重伝建地区を知る研修会を行う。 ・児童が自慢できる魅力ある浜町の発見につながる総合学習の内容の改善と実施を進める。								かがやく子供部会
●健康・体づくり	●「運動習慣の改善や定着化」	○「よく運動したり、体を動かしたりして遊んだりしている」と回答した児童95%以上	・「昼休みマラソンチャレンジタイム」を実施する。 ・「全校ウォーキングクラブ」を実施し、歩数の多い学級に表彰を行う。 ・スポーツチャレンジの実施を呼びかけ、体を動かす機会を作る。							りっぱな体部会	
	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に良い食事をしている」児童85%以上	・朝ごはんについて、毎週火曜日に調査する。 ・食に関するポスター等を毎月掲示する。 ・配膳表を通して食への興味・関心を高めさせる。 ・各学年の実態に沿った食育の授業を全学年年間一回以上実施する。(7月:2年生、10月:3年生、11月:5年生、12月:4年生、1月:6年生、1年生:12月給食試食会) ・給食時間に給食目標に沿った放送を行う。 ・給食の残菜が0になるような給食指導を行う。							りっぱな体部会	
	●安全に関する資質・能力の育成	○「学校の行き帰りは事故に遭わないように注意している」と回答した児童93%以上 ○地域と連携して、年三回の防災訓練を実施	・関係機関と連携し、交通安全教室や避難訓練を実施する。 ・登下校時のPTAや交通指導員との協力体制を維持、継続して、危険箇所を早期に発見し指導する。 ・自然災害時の下校対応について確認する。							りっぱな体部会	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日を毎週金曜日に設定する。 ・2学期制を生かし、事務処理の時間を確保できるように計画する。電子掲示板を活用し、話し合いの時間を短縮する。 ・サーバーの整理とICT活用で、効率化を図る。							管理職・事務職員	

評価項目	重点取組		具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
	取組内容	成果指標(数値目標)		進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○特別支援教育の充実	○児童の特性に応じた効果的な学習活動の構築	○個別の教育支援計画・指導計画・レベルシートの作成100% ○情報共有を定期的に行う(月1回)。 ○特別支援教育に関する理解 ○適切な場で実態に応じた支援を受けることができた回答した保護者90%以上	・期間を設けて、支援計画や指導計画、レベルシートの作成をする。特別な支援が必要な児童については、定期的な面談を実施し、保護者との情報を共有し作成する。 ・年3回の情報共有会議と連絡会後の「気になる子」の時間を設定する。 ・年3回の研修会の設定。支援学級において、定期的に学級経営会議を行う。							かがやく子供部会

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--